

新課程完全対応：28年センター試験 志願者数は55.9万人前後で、前年並みか!?

—出願締め切り時点の志願者数は53万1,880人—

旺文社 教育情報センター 27年10月9日

28年3月の高等学校卒業者数は、今春に比べ0.9%減の約105万9,000人と推測される。

今春、新課程対応として先行実施された数学・理科に続き、28年は全教科・科目が新しい学習指導要領からの出題になる。

28年センター試験の出願受付が、10月9日締め切られた。大学入試センターから発表された、同日17時現在の出願状況は以下のとおりである。

●出願総数	531,880人(508,561人; 23,319人、4.6%増)
<内訳>	
○高等学校等卒業見込者 (高等学校等経由出願)	446,121人(424,449人; 21,672人、5.1%増)
○高等学校卒業者等 (個人直接出願)	85,759人(84,112人; 1,647人、2.0%増)

(注) 1. ()内は、前年締切日(26年10月9日17時現在)の志願者数、及び増数と割合を示す。
2. 27年10月9日の消印まで、出願を受け付ける。
3. 重複出願等の確認、試験場の指定等を行った後、確定志願者数等の統計資料や試験場一覧が発表される(12月上旬予定：27年確定志願者数は559,132人)

○ 最終的な志願者数は、今後消印有効分の2万7,000人程度が加わり、55万9,000人前後になるとみられる。これは27年の55万9,132人(確定)並みになるとみられ、3年連続の減少か、3年ぶりの増加に転じるかは微妙な状況である。

○ 来春の高等学校卒業者数は今春に比べ、0.9%減の約105万9,000人と推測される中、センター試験の現役志願率(27年確定：42.5%)はほぼ前年並みとみられ、センター試験出願の高等学校等卒業見込者(現役生)は前年よりやや減少するとみられる。

現時点(出願締め切り)での現役生の出願が前年に比べて大幅に増加しているのは、前年の特殊な事情による。それは、新課程対応の初年度実施となった前年、「理科」の選択解答方法が複雑・多様化し、文系志願者にも理科の「基礎2科目」がセットで課されることになったことなどから、高校経由の出願取りまとめに時間がかかり、締め切り段階の志願

者数が少なかったためであろう。

因みに、27年の現役志願者の出願状況は、「出願締切日」時点で前年を4%近く下回っていたが、消印有効分が大幅に増え、最終的には対前年比2.7%増の45万5,392人だった。

- 一方、既卒者(個人出願)も現時点で前年より大幅に増加しており、最終的には前年を上回り、2年ぶりの増加になりそうだ。

なお、28年のセンター試験利用大学・短大は、私立4大学増の国公私立693大学／公立1短大減、私立2短大減の157公私立短大(27年3月末現在の予定数)である。

